

浜田ダムだより

第 1 号
平成 17 年 6 月
浜田ダム管理所

大洪水の記憶！！(昭和63年7月豪雨災害)

昭和63年7月、浜田市や広島県山県郡加計町を中心とした地域を相次いで襲った集中豪雨により、**20名もの尊い命が失われました。**

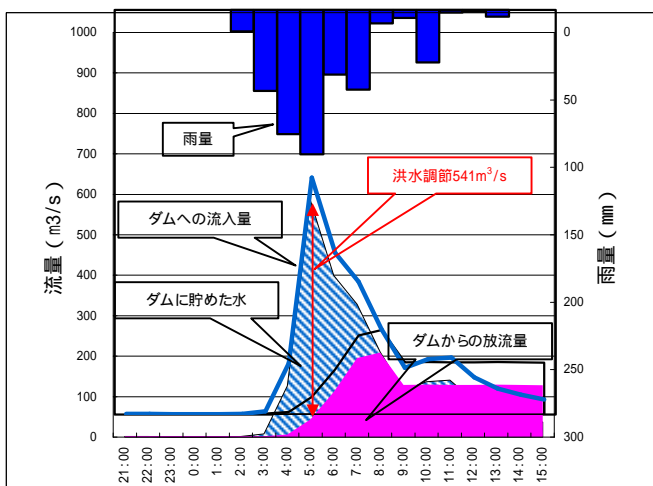
集中豪雨が浜田市を襲ったのは、7月15日未明でした。加計町が土石流で被害を受けたのに対し、浜田市は中小河川の決壊や氾濫により市街地、住宅地の広範囲にわたる水没被害を招きました。

このとき、浜田ダムでは最大限ダムに水を貯留させると同時に、ただし書き操作という異常洪水に対応した放流を行いました。

この63災以降、浜田市においては大きな洪水は発生していませんが、昨年の新潟・福井豪雨など各地で大洪水が発生しており、この昭和63年の災害を忘れることなく県や自治体はもとより、**住民の皆様 1人1人が災害に対する防災意識をもってくださいようお願いいたします。**



S63災 浜田ダムにおいて洪水調節効果を発揮！！



7月15日未明に降り始めた雨は、浜田市内においては24時間雨量が394mmにもおよび、時間最大雨量も84mmを記録しました。特に浜田ダム地点においては24時間雨量が456mm時間雨量が107mmの未曾有の梅雨前線豪雨でした。

この雨により、浜田ダムでは計画洪水流量430m³/sをはるかに上回る583m³/sが流れ込み、この時541m³/sを調整しました。

浜田ダムはこのような集中豪雨に対して、治水機能を最大限発揮して下流の被害を最小限に抑えるよう管理にあたっています。

今後も、洪水時にダムの機能が最大限発揮できるよう、適切な維持・管理に努めます。

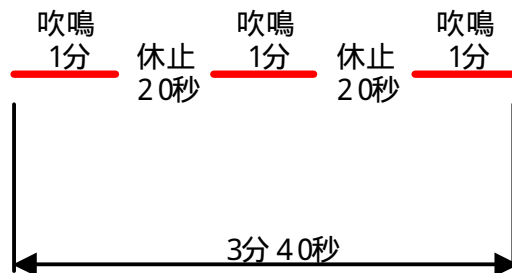
浜田ダムからのお願い

浜田ダムでは、ダムからの放流30分前に放流の放送後、右の図のとおりサイレンを各警報局から吹鳴します。また、車による広報も行います。

このサイレンを聞いたら浜田川に入っている人は速やかに川から上がって下さい。またお子さんには洪水時に川に入らないよう日頃からご指導をお願いします。

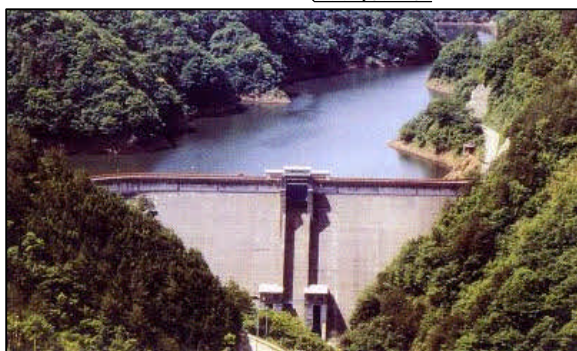
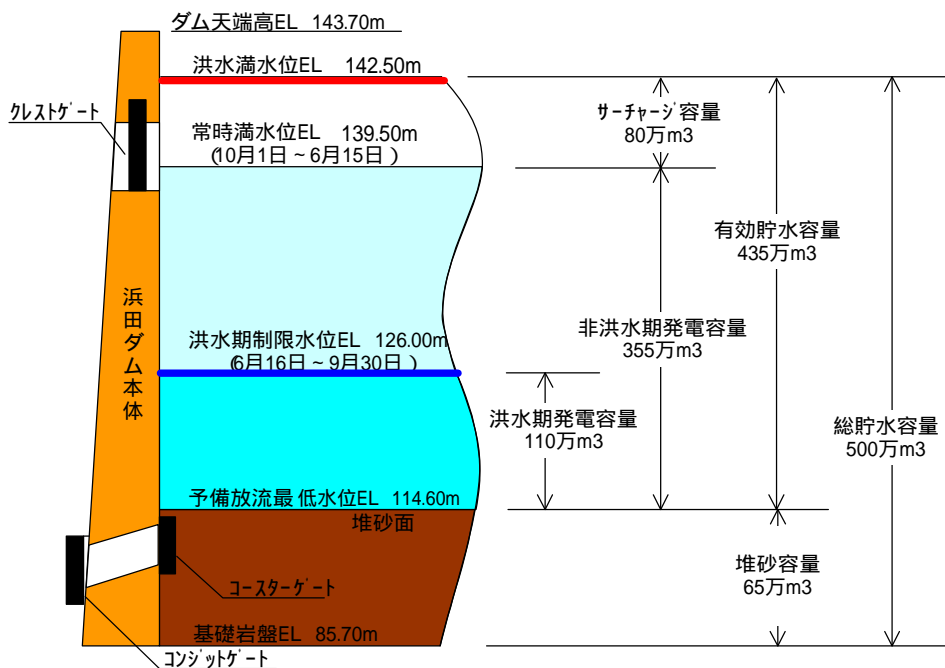
緊急時には、すぐに浜田ダム管理所、または浜田土木建築事務所への連絡をお願いします。

1分間の吹鳴後20秒間の休止 3回繰り返し



連絡先	浜田土木建築事務所 浜田ダム管理所	tel 0855-22-0136	fax 0855-22-5176
	浜田土木建築事務所 管理グループ	tel 0855-22-3131	fax 0855-23-3304

§ 浜田ダムのしくみ



ここでは浜田ダムのしくみについてお話していきます。上の図は、貯水位別に色分けした浜田ダムの概念図です。図の左の台形がダム本体を表しています。

一番下が100年間で貯水池に流れ込んでくる土砂を溜める堆砂容量(茶色)です。

毎年6月16日から9月30日までの間を大雨の降る可能性が高い**洪水期**としており、現在は洪水期であるため、通常は上図の洪水期制限水位(青線)以下で管理を行っています。そして、大雨が降って洪水になると、洪水満水位(赤線)までの範囲(ダムの容量いっぱいを使って)で水を貯留し、下流への急激な流出を防ぎます。

今年もすでに洪水期に入り、浜田ダムでは慎重な降雨予測のもと、より一層適切に管理を行っていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

編集後記

今年度から広報誌「浜田ダムだより」を発行いたしました。浜田ダムに関する疑問、質問や本誌に関する御意見、要望等ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

浜田ダム管理所 TEL:0855-22-0136 FAX:0855-22-5176 担当:福島